

2019年（平成31年）1月



NPOグラウンドワーク東海

パートナーシップで地域の環境創造を

第65号 News Letter



特定非営利活動法人グラウンドワーク東海

〒461-8508 名古屋市東区東桜 2-3-7-616

TEL/FAX 052-935-7430

事務局携帯 080-5157-7203

E-mail npo.gw-tokai@ab.auone-net.jp

<http://www.npo-gwtoukai.org/>

ご挨拶

GW東海理事長 竹谷裕之
新年おめでとうございます。この新しい年が団体
会員、個人会員の皆様、そして推進委員の皆様方、
関係各位の活動や取り組みが、時代のニーズに応え、
さらに大きな成果を上げる年になりますよう、祈念
申し上げます。

温暖化による異常気象や大国間の対立が激化する
なか、今年6月末、大阪で開催されるG20サミット
で、海洋プラスチック汚染問題が重要議題として取
り上げられます。昨年6月、カナダでのG7サミット
ではEUとカナダの共同提案の海洋憲章に、日本はト
ランプ大統領とともに署名を拒否しました。でも温
暖化と同様、海洋プラスチック汚染問題は深刻化し、
解決が喫緊の課題になってきました。GW東海の加盟
団体が河川や用排水路、国道の清掃に取り組み、また
伊勢湾ネットに協力して行っている海岸清掃など
は、海洋に流れ出るプラスチック類の軽減に寄与し
ていますので、G20サミットを契機に視野を拡げ、
我々の活動の効果を考えるよい機会ではないで
しょうか。

また早くも今月、1月26日、豊田市にてグラウン
ドワーク東海のフォーラムⅡが『「雑草」とどう向
き合うか?』をテーマに開催されます。この3年、
グラウンドワークと多面的機能支払活動サミットに
参加してきましたが、農業・農村で多面的機能を本
格的に発揮できるようにする上で、このテーマに掲
げた『雑草』とどう向き合うかは、なかなか重たく、
しかし現実に対応を迫られる問題だけに、それぞれの
立場での経験や抱えている課題等を交換し合うこ
とは、GW東海だからこそできる活動であると思いま
す。

グラウンドワークは、パートナーシップによる環
境改善・地域活性化活動を正面に掲げ、取り組む組
織です。住民を主体に行政と企業が連携するグラウ
ンドワーク活動の固有の意義を改めて見つめ直し、
新たな命を吹き込むこと、これがいよいよ大事な課
題になっているのではないのでしょうか。

例年開催してきた、フォーラム、サマーセミナー、
環境デーなごや、講演・助言活動等、定例的活動を
しっかりと進めながら、新たな一年をGW活動が目
指す地域の環境改善、地域興しの取り組みの輪を押
し拡げる年にしたいものです。



ナマズ、タニガワナマズ 57年ぶりに新種のナマズが見つかり、タニガワナマズと命名されました

お腹にもまだら模様があり、上の歯が真ん中で切れ目があるのが特徴です

地域資源保全！

住民参加を考えるシンポジウム in とちぎ

「豊かな農村環境の地域資源を保全するために地域住民の参加を考える」

副理事長 原田 郁郎



NPO 法人グラウンドワーク東海

2018 年度第2回フォーラム

【雑草】とどう向きあう？

日時 2019年1月26日（土）14:00～17:00（開場 13:00）

場所 矢作川豊田防災ステーション（豊田市森町1丁目地内）※地図：googleMap

最寄り駅 名鉄三河線「豊田市駅」または愛知環状鉄道「新豊田駅」

駐車場 会場に駐車可能

主催 NPO 法人グラウンドワーク東海

参加費 無料

概要

1. 話題提供

・公益社団法人愛知県pestコントロール協会

会長 坂倉弘康さん、技術委員会委員長 森重樹さん

「公園など草地で危険とされる虫とその対策（仮題）」

・NPO 法人グラウンドワーク東海理事 服部久人さん

「緑地管理のモチベーション（仮題）」

2. 参加者意見交換

参加者全員の「雑草」に対する考えをキーワードシートとして事前にご用意いただき壁に張り出して、いろいろな考えを見ながら意見交換をおこないます。

3. オプション

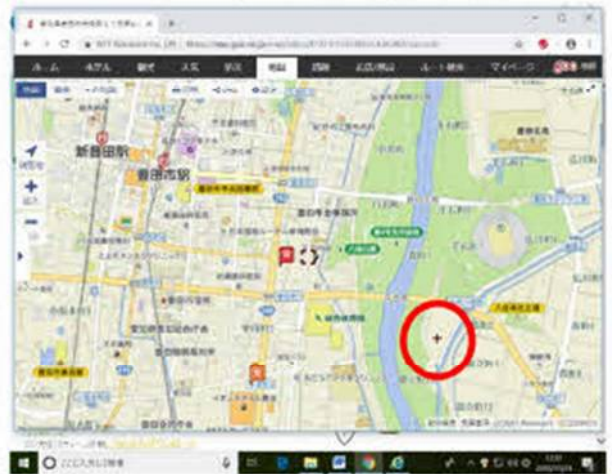
13:00～14:00 現場見学（集合場所：会場入り口） 会場の周囲は公園・堤防の除草管理、矢作川・支川加茂川

周辺整備、加茂川水門堰上げ式魚道、森づくり、ワンド保全、竹林伐開など行政・企業・市民が行ってきたさま

ざまな地域づくりの工夫を見ることができます。1時間程度で徒歩見学して意見交換の参考にしましょう。

懇親会（17:30～19:30）

豊田市駅周辺を予定しています。



参加申込方法 以下の項目をメールで1月18日（金）までに連絡願います。

① 参加者全員のお名前

② 懇親会（4,000円程度見込み）参加希望の有無

③ 連絡先メールアドレス

申込先：npo.gw-tokai@ab.auone-net.jp

開催趣旨

【雑草】に対する見方は千差万別です。そして管理は土地管理者ごとに行われていますので、全体としてみればモザイク模様の雑草分布になって生物の生態環境多様性に寄与しているともいえます。

しかし、都会以外では高齢化、人口減少によりこれまでのような雑草管理ができない状況も見られます。

今回のフォーラムでは様々な考えについて相互理解を進め、今後の雑草との付き合い方を考えることを目的とします。

ナマズ

理事：福田秀雄

在来種のナマズは4種類

ナマズ（マナマズ）、ビワ

コオナマズ、イワトコ

マナマズ、だけが5、6月頃川から、水路、田んぼと上りオスがメスの体に巻き

付き回転しながら卵をうみます、回転しながら生むことによって、卵は四方に飛

び環境の変化に対応しています、稚魚は田んぼで育ち親は川へと帰っていきます、

この様に田んぼで産卵するのは、マナマズのみ、ナマズ類は夜行性で昼間は岩の

間などに潜んで

夜間行動する。食べて一番美味しいのは、イワトコナマズです、

現在犬山里学センターにタニガワナマズ展示中です

10月12日（金）に栃木県小山市の道の駅思川の小山評定館において、開催

されたシンポジウムに参加しました。

シンポジウムの開会に際して、主催者である日本グラウンドワーク協会の竹谷

理事長、栃木県農地多面的機能保全推進会議会長の久保小山市長の挨拶と、来

賓として、関東農政局農村振興局整備部農地整備課の高橋課長からの祝辞が行わ

れました。

基調講演は、「多面的機能支払交付金による地域資源保全」と題して、「農林水産省農地資源課の長山多面的機能支払推進室長から５年目となる多面的機能支払制度の課題として、組織によっては活動継続の困難な状況にあり、今年度終期を迎える組織が次の５年間に活動を繋げていけるためにも地域協働力が必要であり、作業の省力化や多様な主体の参画を進めながらグラウンドワークとの連携について話がありました。

- 活動事例紹介**では、
- (１)「小山市の多面的機能支払交付金とグラウンドワークの取組み」と題して、小山市産業観光部農村整備課の田尻次長兼課長から、関東トップクラスの小山市での多面的機能支払交付金活動の状況と小山市グラウンドワーク基金事業についての報告がありました。
 - (２)「環境に配慮した農村づくりについて」と題して、みたとうぶ保全会の高瀬代表から、１７地区での農地維持活動と環境配慮の取組みとして、水路へ魚だまり設置についての報告がありました。
 - (３)「グラウンドワーク西鬼怒の活動紹介」と題して、NPO法人グラウンドワーク西鬼怒の水谷理事長から、①田んぼの学校、②フクロウ営巣ネットワークプロジェクト、③ドジョウ水路の草刈、谷川のクリーン作戦、④蕎麦の楽校、⑤白沢公園、谷川上流保全地、GW活動センターの管理についての報告があり、GW活動センターは宇都宮市の施設を指定管理者となり、白沢公園と谷川上流保全地は宇都宮市と契約管理されているとのことでした。
 - (４)「ホテルの里づくりと学校教育との連携」と題して、富屋西部ホテル愛護会の入江会長から、ホテルの保全地として『ホテルの里』の整備や水路へ山からのしみ出し水が入るように整備し、ホテル研究所での人工飼育事例と富屋小学校３年生への１年通したホテル学習の支援について報告がありました。



シンポジウム終了後の**意見交換会**は隣接する小山食堂さくらにて行われ、乾杯には小山産のラムサールふゆみずたんぼ米１００％で作られた

2018 年 11 月 10 日 大江川クリーン作戦

11 月 10 日毎年恒例の一宮市街地を流れる大江川のクリーン作戦がおこなわれました。グラウンドワーク東海は竹谷理事長以下で後援団体として現地取材しました。

行政（一宮市）、水路施設管理者（土地改良区）、住民団体、学生、子供、地元企業など多様な参加者が水路と遊歩道の清掃を行いました。

今年は台風など出水が多くてゴミが流され、川の中の獲物は多くなかったようで、桜並木の枯葉が主体でした。

写真：主催のグラウンドワーク一宮実行委員会



活動アピールのためにはこういうユニフォームは有効です

日本酒「この酒小山のラムサールふゆみずたんぼ米」で行われ、「小山牛のすき焼き」始め「なまずのてんぷら」や「小山うどん」などの小山ブランドがいっぱいで、多くの参加者とたくさんの意見交換を行うことができました。



- 翌１３日（土）は、**現地研修会**として、
- (１) 思川西部環境保全会の活動現場の生井桜つつみにおいて、大久保小山市長の挨拶と概要説明の後、思川西部土地改良区の事業説明と小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課長から渡良瀬遊水地でのエコミュージアム、ふゆみずたんぼなどの環境に優しい農業やコウノトリ・トキの野生復帰の取組みの説明を受けました。
 - (２) みたとうぶ保全会の思川カントリーエレベーター南側の水路で施工された生き物だまりを見学しました。松の木柵で作った魚だまり、廃ヒューム管を利用した生き物の隠れ家や魚道設置とそれに併せてイワダレ草やシモツケコウホネの植栽を行っていました。
 - (３) NPO法人グラウンドワーク西鬼怒の活動現場では、指定管理しているGW活動センターや管理委託白沢公園を見学し、当日は田んぼの学校による収穫祭があり、参加者と一緒におにぎりやお味噌汁を頂きました。

栃木県の多面的機能支払交付金活動では、生き物を保全する活動が多く見られ、今後のグラウンドワーク活動との連携への参考になるものがありました。

２日間にわたって、栃木県農地水多面的機能保全推進協議会始め小山市のみなさんには大変お世話になりました。

ごみ集積場



当日は天気も良く皆さん動きが軽かったようです。

会員募集と会費納入のお願い

平成３０年度会費未納の方は納入をお願いします。新規加入ご希望の方は事務局へメールでご連絡の上、以下の口座番号へ会費を納入してください。

金融機関	口座番号	口座名義	会費 個人正会員様 １０, ０００円／年／口 個人協力会員様 ３, ０００円／年／口 企業・活動団体様 事務局へメールでご確認ください
(振替用紙ご利用) 郵便局（ゆうちょ銀行）	００８８０-８-３５７５８	NPO グラウンドワーク東海	
郵便局（ゆうちょ銀行）	記号 １２１６０ 番号 ４５９６９５９１	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海	
三菱東京 UFJ 銀行 名古屋営業部	店番 １５０ 普通 番号 ５７５９６０３	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海	

